

## 「第5波」の概況

### 1 爆発的感染拡大と感染者像の変化

#### ① 「第4波」を遙かに超える感染拡大

- 第5波では、感染力が強く、重篤度が増す「**デルタ株**」が主流に
- 第4波の**約2倍のスピード**で感染が拡大
- 第4波までの**累計陽性者数を上回る感染規模**

#### ② 人流集中エリアから市中へ、都市部から地方部への感染

- 都市部では、**人流集中エリアから感染が拡大し、それと比例し、都市部と往来がある周辺都市や地方部の感染者が増加**する傾向



#### ③ 変化し続ける感染者像

- 高齢者の感染が急減し、相対的に**子どもの感染割合が増加**
- 新規陽性者数に占める**重症化率、死亡率の大幅な減少**
- 家庭内感染が大きな割合を占め、次いで、職場や学校等での感染
- 医療機関、福祉施設、飲食店等に加え、児童施設や教育施設、企業におけるクラスターが数多く発生

### 2 対策の内容、成果

#### ① ワクチン接種

- 年代が低くなるにつれて接種率は低くなる
- 未接種と比べ、2回接種済の新規陽性者数は極めて少ない
- ブレークスルー感染は、数が抑制的かつ無症状が多く、重症化事例も少ない
- ワクチン接種者と未接種者でウイルス量にあまり差がなく、接種者でも二次感染を引き起こす可能性あり



#### ② PCR検査

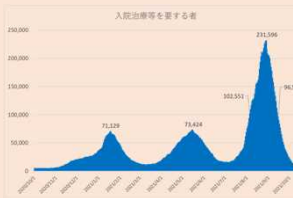
- 第4波のピーク時に比べて2倍以上の検査を実施

#### ③ 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置・その他独自対策

- 最大21都道府県において緊急事態宣言が発出
- 最大16道県においてまん延防止等重点措置が適用
- 都道府県内の感染状況等に応じて、**住民への自粛要請や飲食店等への営業時間短縮の要請など**独自対策を実施

#### ④ 保健・医療

- 入院治療等を要する者が1カ月以上にわたり過去最大の水準に
- 保健所機能の逼迫や医療機関での受入れが困難な状況が続き、自宅療養を余儀なくされるなど、**多くの地域で保健・医療提供体制が危機的な状況**に陥る



## 検証等事例（課題・好事例等）

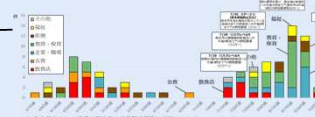
### 【視点1】ワクチンの接種の効果

- 新規陽性者に占める**ワクチン接種者の割合は小さく、重症化を防ぐ効果あり**
- 希望する全ての方へ2回接種を最優先で完了させるとともに、追加接種に向け体制整備が必要
- ブレークスルー感染もあり、**接種後も基本的な感染対策の徹底を継続することが重要**



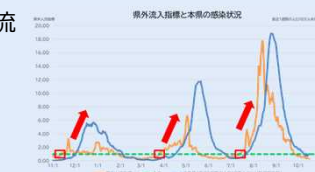
### 【視点2】クラスターの発生等

- 初期に**飲食店や会食**におけるクラスターが発生、**時短要請等の対策後に減少**
- 企業・職場等**のクラスターは第4波と比べ**増加**
- 学校・保育施設**のクラスターが**大幅に増加**



### 【視点3】人流と感染拡大の相関関係

- 都市部では、域内での人流増加後に感染者数が増加する傾向
- 地方では、**都市部からの流入数の増加後に、感染者数が増加する傾向**



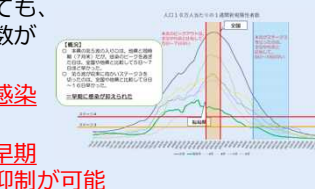
### 【視点4】時短・休業要請の効果

- 時短・休業要請**による人流の減少で、**新規陽性者数の減少や飲食店クラスターの減少など、一定の効果あり**
- 一方、効果の差が明確ではない地域もあり



### 【視点5】感染防止対策

- ワクチン接種率が向上しても、感染対策が緩むと感染者数が増加すると推測
- 早期対策により、早期の感染収束が見込める**
- 濃厚接触者の早期特定・早期治療により、重症者数の抑制が可能**



### 【視点6】医療提供体制・保健所機能

- 病床逼迫等を防ぐため、**メディカルチェックを実施し、重症化リスクがない場合、自宅療養や宿泊療養に**
- 臨時医療施設や抗体カクテルセンターの設置、オンラインによる健康観察の導入
- 保健所へ応援職員の派遣、人材派遣会社の活用

## 今後の対策・取組の方向性

### 1 基本的な感染対策の徹底

- マスク着用、手指消毒、体調管理、三密回避、換気等の徹底（ワクチン接種者含む）
- 職場、学校等の環境整備や時差利用等のシステム構築



### 2 感染対策の迅速かつ柔軟な実施等

- 実効性のある人流抑制策（法整備含む）
- 感染の実態を踏まえた弾力的な制度設計
- 知事の要請に応じた緊急事態宣言等の迅速かつ機動的な発動

### 3 医療提供体制の充実・強化

- 病床の更なる確保、宿泊療養施設の充実
- 症状に応じた適切な医療の提供、中和抗体薬等による重症化防止等
- 国による医療人材の確保



### 4 保健所機能の強化

- 業務の簡素化、効率化（デジタル化推進）
- 支援体制の構築（保健師の派遣・育成、財源措置）



### 5 ワクチン接種の円滑な実施

- ワクチン必要量の確保と速やかな配分
- 接種対象拡大に係る方針の早期提示
- 有効性、副反応等の正確な情報提供



### 6 各種システムの整理・改良

- コロナ関連の複数システムの連携（API連携の充実、共通IDの互換性整備等）
- 問合せに対する国のフォロー体制の確立

### 7 正確かつ強力なメッセージの発信

- SNSなど、あらゆる広報ツールを活用した幅広い年代層に対する分かりやすい情報発信

